

事業名	有害鳥獣対策支援事業
-----	------------

総事業費	14,753 千円
------	-----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	農業の振興
	基本事業名	多様な担い手育成

② 実施 (Do)

事業の意図	捕獲従事者へ報償金等による有害捕獲活動支援を行うことで、捕獲意欲を高め、継続した捕獲活動の強化を図る。	
事業の実績 と成果	取組内容	猟友会が行う有害鳥獣捕獲活動への補助を行った。 有害鳥獣捕獲従事者に対し、捕獲を伴う報償金を支払うことにより捕獲意欲を高める。 緊急時において、実施隊への捕獲依頼を行い、早急な対応を行った。
	成果	令和6年度は2,245頭のシカの捕獲を行いシカの頭数管理を行うことができた。また、ネットにかかったシカの止め差しや緊急を要する被害に対して、実施隊員への依頼を行い、早急な対応を行うことができた。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	銃猟での捕獲を行う従事者が減少しており、カラスの追い払いなど鳥害対策が難しくなっている。また、物価高騰により、有害捕獲従事者の捕獲経費が苦しくなっているため、報償費に値上げも視野に入れていかなければならない。または、別の形で猟友会や捕獲従事者への支援を検討していく必要がある。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	市猟友会との連携により、計画的な捕獲活動がなされ、農業被害の軽減に繋がっている。 一方、今年は、例年に比べヒヨドリの発生が多く、捕獲上限の100羽が有害捕獲されたものの、冬から春先にかけてブロッコリー等の農作物被害が多く見られた。猟友会においては、銃猟での捕獲従事者の減少や従事者全体の高齢化が課題となっており、今後体制の維持や従事箇所等の見直しが必要である。

④ 改善 (Action)

2025年度 方向性	農作物被害は減少傾向にあるが、農業者からの鳥獣捕獲要望はあるので、猟友会と連携しながら適切な対応を行う。
------------	--

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明
	確認検査の様子 (ヒヨドリ)

事業名	林業就労改善推進事業
-----	------------

総事業費	3,662 千円
------	----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	林業の振興
	基本事業名	多様な担い手育成

② 実施 (Do)

事業の意図	林業就業者の福利向上による就業確保にて、森林整備事業を計画的に推進する。	
事業の実績 と成果	取組内容	業就業者の社会保険及び退職金制度の一部及び資格取得に係る講習料の一部を助成した。また、林業事業者が導入した高性能林業機械のリース料の一部を助成した。
	成果	就業条件が改善され林業就業者の定着に一部繋がった。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	林業だけでなく、他業種でも人員が不足している。処遇面や労働面での改善を図っているが、一部の就業者の定着に留まっている。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	林業就業者の処遇を改善し、林業就業者の確保を図るため、林業事業者を通じて、林業就業者の社会保険及び退職金制度、資格取得の一部を助成した。また、作業負担の軽減のため林業事業者が導入する高性能林業機械の導入費用の一部を助成した。 林業就業者の人員確保に一定の効果があるものの、他業種でも人員が不足している状況であり、就業後の定着が課題となっている。

④ 改善 (Action)

2025年度 方向性	林業就業者の福利厚生を向上することで、林業就業者の確保や定着化が図れるよう、引き続き市内林業事業者と協議を重ね、効果的な方策に繋げたい。
------------	--

事業名	種子島森林組合運営資金貸付事業
-----	-----------------

総事業費	0 千円
------	------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	林業の振興
	基本事業名	多様な担い手育成

② 実施 (Do)

事業の意図	経営健全化を図る。	
事業の実績 と成果	取組内容	種子島森林組合の経営を支援するための貸付事業で、令和3年度に長期での貸付（10年償還）を行った。
	成果	経営改善協議会での指導により随時遊休資産の処分等により単年度の収支を改善してきた。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	当期末処分剰余金は依然として多額のマイナスとなっている。また、事業課や作業班の離職が続いており、人材確保対策や継続した経営改善が必要である。令和6年度の上半期(7月~12月)決算では、多額の赤字を計上している。人員不足による事業規模の縮小が経営への影響が大きいと考えられる。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	厳しい経営が続く森林組合の経営改善により林業活性化を図るため、令和3年度に貸付金額と返済期間の見直しを行い、令和4年度から新たな貸付条件下での返済が始まっている。 なお、令和4,5年度は、遊休資産(旧南種子支所,製材所)の売却処分等により、単年度黒字と一定の経営改善が見られた。しかし、令和6年度の上半期では、△500万円と多額の赤字を計上している。最終的には、150万円の赤字と見込んでいるが、人員不足による事業の縮小など課題が多い。 引き続き、経営状況を確認しながら、安定した運営を支援していきたい。

④ 改善 (Action)

2025年度 方向性	経営改善に繋げるよう指導や支援を継続する。
------------	-----------------------

事業名	林業総合支援事業
-----	----------

総事業費	23,951 千円
------	-----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画の位置づけ	施策名	林業の振興
	基本事業名	多様な担い手育成

② 実施 (Do)

事業の意図	施設改修や機械導入時の負担軽減により林業事業者の育成発展、経営の向上を図る	
事業の実績と成果	取組内容	種子島森林組合が導入した林業機械の導入費用を助成した。
	成果	林業機械の導入により、作業従事者の負担軽減や作業効率の改善が図られた。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	林業機械の導入により、作業従事者の負担軽減や作業効率の改善が図られているが、他産業の影響により、人員が不足している。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	作業の効率化や作業従事者の負担軽減を図るため、令和6年度は、種子島森林組合に対し25 t セルフ運搬車の導入費用を助成した。 一定の効果があるものの、人材不足は顕著であり、林業機械導入による作業の効率化を図るとともに人材の確保が急務となっている。

④ 改善 (Action)

2025年度 方向性	作業の効率化や作業従事者の負担軽減が図れるよう、本事業を継続する。
------------	-----------------------------------

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明
	令和6年度林業機械導入事業：25 t セルフ運搬車 事業主体：種子島森林組合

事業名	西之表市農業人材確保対策事業
-----	----------------

総事業費	100 千円
------	--------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	林業の振興
	基本事業名	多様な担い手育成

② 実施 (Do)

事業の意図	林業分野における就職を支援をすることで、林業事業者の人材確保を図り、市の林業振興に繋げる。	
事業の実績 と成果	取組内容	・全庁的な広報 ・就業予定者等からの相談への対応
	成果	今年度の新規就業者は、市内在住者1名であった。昨年度奨励金を交付した1名が、1年経過し勤続奨励金の対象となった。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	人材確保を目的とした事業であるが、要件によっては商品券での交付といった商工政策を絡めた制度となっており、事務を複雑化させている。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	令和6年度は、人材確保対策として、目標値には届かなかったが、新規就業者（島内在住就職者）1名の実績となった。 島内の様々な職種において、労働力不足が顕著化しており、大変厳しい状況にあるが、林業人材の確保に繋がるよう、引き続き支援していきたい。

④ 改善 (Action)

2025年度 方向性	林業分野における就職を支援をすることで、林業事業者の人材確保を図り、市の林業振興に繋げる。
------------	---